

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●C.ルメール騎手が騎乗機会10連続連対と1日8勝を達成

クリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)が、11月5日(土)の5回東京1日・第10レースとしておこなわれたノベンバーSから翌6日(日)の5回東京2日・第10レースとしておこなわれた晩秋Sまで、JRA騎乗機会10連続連対を達成しました。これは武豊騎手、安藤勝己元騎手、岩田康誠騎手、ミルコ・デムーロ騎手による騎乗機会9連続連対を上回るJRA新記録となります。またルメール騎手は6日(日)の5回東京2日、第2、3、4、7、8、9、10、12レースで1着となり、1日8勝を達成しました。これは武豊騎手に並ぶJRA最多タイ記録です。

●幸英明騎手がJRA通算1200勝を達成

11月5日(土)の5回京都1日・第2レースではハイパーノヴァが1着となり、同馬に騎乗した幸英明騎手(栗東・フリー)は、史上21人目、現役では9人目となるJRA通算1200勝(1万7284戦目)を達成しました。

●四位洋文騎手がJRA通算1万3000回騎乗を達成

11月5日(土)の5回京都1日・第6レースでサーストンカイザーに騎乗した四位洋文騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で、史上17人目、現役では12人目となるJRA通算1万3000回騎乗を達成しました。

●友道康夫調教師がJRA通算400勝を達成

11月6日(日)の5回東京2日・第11レースとしておこなわれたアルゼンチン共和国杯(GⅡ)ではシュヴァルグランが1着となり、同馬を管理する友道康夫調教師(栗東)は、現役46人目となるJRA通算400勝(2956戦目)を達成しました。

●スギノエンデバーの競走馬登録抹消

2012年テレビ西日本賞北九州記念(GⅢ)の勝ち馬スギノエンデバー(牡8歳/栗東・浅見秀一厩舎)は、11月4日(金)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は58戦6勝で、今後は北海道新ひだか町の明治牧場で乗馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●エビカリスが北海道2歳優駿(門別)を大差勝ち

北海道2歳優駿(JpnⅢ、11月1日、門別、1800m)は、後続を引き付けて逃げたエビカリス(クリストフ・ルメール騎手、牡、父ゴールドアリュール)が2着のヒガシウィルウィン(北海道)を2秒4も引き離し、単勝元返しの圧倒的支持に応じてデビュー以来の連勝を3に伸ばしました。3番人気のビービーガウディは5着、ララベスラーナは8着でした。なお、トミケンカリムは輸送熱と痲痛のため出走取消となっています。

●兵庫若駒賞は未勝利馬ナチュラリー【各地の主要2歳重賞】

兵庫若駒賞(10月27日、園田、1400m)は、3番手から3コーナーで先頭に立った3番人気のナチュラリー(牡、父ゴールドヘイロー)が、単勝1.6倍で断然人気のスターレーンの追撃をハナ差凌ぎ、初勝利が重賞制覇となりました。サッポロクラシックC(10月19日、門別、1200m)は、5番手前後から追いつけた2番人気のフライングショット(牡、父タートルボウル)がゴール寸前で差し切り勝ち。ゴールドウィング賞(10月20日、名古屋、1600m)は、先手を取った1番人気の北海道からの移籍馬ミトノリバー(牝、父シニスターミニスター)が2馬身半差で楽勝を収めました。知床賞(10月30日、盛岡、1400m)は、中団から3、4コーナーで差を詰めた3番人気の北海道からの遠征馬ダNSTONレガメ(牝、父フリオーン)が、ゴール前の競り合いをハナ差で制しています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ブリーダーズカップ〜3歳馬アロゲートがクラシックを制す

アメリカ競馬の祭典ブリーダーズカップ開催が11月4日、5日の2日間にわたって西海岸カリフォルニア州のサンタアニタパーク競馬場で行われました。メイン競走にあたるG1ブリーダーズCクラシック(5日、ダート10^{5/8})を制したのは3歳牡馬のアロゲート(父アンブライドルズソング)。道中3番手追走から直線で外に持ち出されると、そこからグイグイと加速。逃げ粘る今年のG1ドバイ・ワールドCの勝ち馬カリフォルニアクロームを交わし、最後は半馬身差を付けました。勝ったアロゲートは、13馬身半差で圧勝した前走8月のG1トラヴァーズS(ダート10^{5/8})に続くG1連勝。今年6月の初勝利から5連勝となりました。勝利騎手はM. スミス、調教師はB. パファート。パファート調教師はこれでバイエルン、アメリカンファラオに続いてこのレース3連覇です。なお、ブリーダーズCクラシックの7レース前に組まれたG1ブリーダーズC・フィリー&メアターフ(芝10^{5/8})には日本からヌーヴォレコルトが参戦しましたが、直線で伸びず11着に終わっています。勝ったのはイギリスのクインズトラスト(牝3歳、父ダンシリ)。直線で抜群の切れ味を見せて、重賞初制覇をG1で飾りました。勝利騎手はL. デットーリ、調教師はM. スタウト。